

日産財団ニュースレター (第37号)

2017年12月発行



NISSAN
GLOBAL
FOUNDATION

ひとを育て、未来に夢を...

はじめに

日産財団では、2016年度理科教育助成(助成期間2017.1.1~2018.12.31)の対象校・団体の1年目の活動状況を把握するための助成校・団体への訪問を実施しています。それぞれの学校・団体の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。

◆ 2016年度助成校・団体の活動紹介(2017年11月 - 2017年12月に訪問した6件)

栃木県 鹿沼市立加蘇中学校



3年生「食物連鎖」の校内研修授業。食物連鎖において、植物の場合はどうやってゆくの(「なぜ世界は落ち葉だらけにならないのか」)を予想した後に、校内に設けられた落ち葉入れに向かい、落ち葉を掘り起こしながら表層から深層にかけての様子をタブレットで撮影し、考察している。

福島県 下郷町立江川小学校



5年生「物のとけ方」の理科授業カアップ研修会での公開授業。今まで学習してきた知識を活かして、水・食塩水・ヨウバン水溶液を見分ける挑戦を行っている。児童は、各々のグループで考えた実験を行いながら、その結果をワークシートにまとめ、考察している。

福島県 天栄村立広戸小学校



4年生「水のすがたと温度」の授業。ガスバーナーで水を沸騰させながら、その様子をiPadで撮影している。その動画と別途収録された水を冷やす動画を比較しながら、水の温度を変えた時の様子について気が付いたことを紙に書いて他の意見と比較している。写真右は、AR技術を使用した天栄村の生物調査の様子。

神奈川県 横浜市立鴨居中学校



1年生の「凸レンズのはたらき」の授業。タブレットで実験結果を確認したり、凸レンズの光の進み方を3本の毛糸で示しながら、凸レンズによる像のでき方の規則性について学習した。右画像は、授業後の協議会の様子。教材や評価基準の設定、タブレットとデジタル教材の有効な活用法など、徹底的に議論された。

福島県 いわき中学校理科同好会



いわき市総合教育センターで開催された第3回いわき教師力UPセミナーの様子。今回のテーマは『放射線教育』の意見交換で、授業案や教育実践と成果の紹介、課題説明などが報告された。続いて、教員のワークショップが開始され、①報告を聞いて②これからの放射線教育について議論が交わされた。

神奈川県 横須賀市自然・人文博物館



横須賀市自然・人文博物館主催「みんなの理科フェスティバル」の様子。小・中・高に加えて、大学・一般・博物館研究者の研究成果をそれぞれ発表した。発表者たちは5分間という限られた時間の中で、自分たちの研究のポイントや今後の研究に向けた取り組みなどについて熱心に発表していた。